

# 北浦和事業所

## 令和5年度第4回障害者就労支援機関情報交換会と 令和5年度就労アセスメントセミナーを同日開催いたしました！

北浦和事業課 根岸



▲ 講義の様子



▲ 演習の様子



▲ グループディスカッション後の発表の様子



▲、▶

情報交換会後の様子

令和6年2月28日(水)に浦和合同庁舎本館5階講堂にて令和5年度第4回障害者就労支援機関情報交換会(以下「情報交換会」と)と令和5年度就労アセスメントセミナー(以下セミナー)を開催しました(埼玉県障害者雇用総合サポートセンター障害者職場定着支援業務事業の一環として実施)。

情報交換会は年間計画として全4回を予定しております。今回は最終回となります。第3回まではコロナ禍を経て移動や感染拡大のリスクを考慮しオンライン開催していましたが、ご参加くださる就労支援機関の皆様から「是非対面でも行って欲しい」「対面であればこその意見や情報交換が出来るから」等々のご要望にお応えし、初めての対面開催といたしました。

当日は15センター計16名の方にご参加いただきました。令和7年10月から始まる就労選択支援の福祉サービスについて準備しているか?アセスメントツールはどんなものを使っているか?支援登録の判断基準をどうしているか?…等々それぞれのセンターでの取り組みを紹介して意見交換する時間となりました。情報交換会の終了時間を過ぎても個別に意見交換している方々がたくさんいらっしゃって、名残惜しい散会となりました。

セミナーは上記情報交換会終了後から開催いたしました。行動観察の視点をワークサンプル幕張版を活用して学んでいただく機会とし、11センター1機関計13名の方にご参加いただきました。

例年ですと1日掛けて実施しているのですが、今回は約半日に講義と二つの演習を組み込んだ非常にコンパクトな内容になったため、演習では教示者(評価者)役と被験者役を職員が演じているところを観察していただき、実際に記録を取りながら行動観察する際の必要なポイントをお伝えしました。観察後は認知機能のプロセスと評価の結び付き等を理解いただきながらグループで評価票を作成してゆく…という工程を体験いただきました。

終了後に行ったアンケートでは「また開催して欲しい」という声を多くいただいたので、次年度以降も開催出来るよう実施した内容をしっかり振り返り、より良いものを作つてゆきたいと思います。

情報交換会もセミナーも、障害のある人を支える私たち支援機関がスキルアップし、障害のある人の就労及び職場定着に少しでも寄与出来るよう、これからも企画・実施してゆきたいと思います。ご参加くださった皆様、ありがとうございました!

# 東松山事業所

東松山第2事業課 五十幡・杉山



# 久喜事業所

## 「卒業生との座談会」について

久喜事業課 根本

発達障害及びグレーゾーンの大学生を対象とした「卒業生との座談会」が2月8日(木)にオンラインにて開催があり、卒業生として参加をしました。

座談会は就職・キャリア形成の一環であり、現在働いている人の実態を知ることで、在学中に取り組んでおく準備について考え、将来働く為に具体的なイメージをつけていただく機会となっておりました。

座談会で話をするテーマとしては、①就職に向けて在

令和6年2月9日(金)に、就労定着支援利用者を対象とした第3回OBOG会を開催し、12名の方が参加しました。数日前には積雪もみられ、会社や仕事への影響はどうだったかと話題にあがりました。休日の過ごし方については、みなさんどうしているのか情報交換をされていて、近況報告を行いながら積極的に交流を図っていました。

今後も参加していきたいとの声を、たくさんいただきました。今年度も、ぜひ継続していくければと思っております。次回開催の際にはまた、卒業生のみなさんにお声掛けをさせていただきたいと思います。

OBOG会がみなさんの良い交流の場となり、得た情報等を今後に活かしていただけることをスタッフ一同願っております。

学中に行った準備、就職活動の内容・感じたこと②就職した現在の状況③在学中に準備しておくとよいことでした。在学中の頃を振り返ってみると、就職活動に向けてなかなか動き出しができず、準備が進んでいなかったことから発表前は在学生の参考になるのかという気持ちが強くありました。しかし、発表後は在学生からの質問や感想を幾つかいただき、役に立つことができたと思えました。

座談会の資料作成は大変でしたが、在学生の反応を見て私の体験記が在学生の参考になったようで嬉しく思います。また、私以外にも卒業生の立場として1組が参加されており、座談会は盛況のうちに終了いたしました。

今後の在学生の活躍を応援しております！

# 法人代表 + 各事業課 今年度の抱負

## 法人代表 若尾 勝己

本年度も、全職員の皆さんにそれぞれ担当していただいている事業をしっかりと実施・提供していただけるよう、クオリティ・コントロールの役割を担いたいと考えています。

また、私たちが行っている事業そのものに埋没してしまわないように、広い視点で、かつ常に新しい情報を取り入れられるよう、厚生労働省や埼玉県、また東松山市という足元の行政機関や、新しい取り組みや活動、実践を学び取り入れるために様々な民間の支援実施機関ともコミュニケーションを図りたいと考えています。これらは、私たちを必要としていただける方々全てに、就労支援サービスと

して還元するための投資活動であると云えますので、惜しみなく時間をささげたいと思います。

そのためには、先ずは健康であり、法人の運営に継続的に携われる心身のコンディションを維持することを心がけたいと思いますし、私にとってのプライベートの楽しみでもある、東京ドームでの巨人戦の観戦、人里離れた場所で愛犬2匹とドッグラン付きのコテージで過ごすこと、美味しい料理とお酒が愉しめるお店を見つけ堪能すること、の3つを実践し、常に良い状態で仕事に取り組めるよう万全を期すことが、変わらずの抱負になります。